

明日はこれを読もう

二見時代小説文庫

倉阪鬼一郎

若おかみの夏

小料理のどか屋 人情帖29

焼き茄子の煮浸し
生姜の辛煮茶漬け
冷やし鮑と玉豆炒め
鯖の小倉煮
浅蜷時雨焼き
鱈の押し寿司

千吉の
許嫁おようが
かわら版で
大評判に…

シリーズ最新刊

シリーズ既刊

①



千吉は許嫁のおようは、花火見物に出かけた大川端で、小さな子を抱いて身を投げた女の姿を見てしまった。千吉は己が金槌なのも忘れて大川へ。あわてないで、とにかく浮かんで助けを待つように——と大声で叫んだおようもまた、足を滑らせて川のなかへ…!